

公益財団法人浜松市医療公社第9期（令和3年度）事業報告について

1 事業総括

公益財団法人移行の9年目にあたる令和3年度（中期計画1年目）は、未だ終息に至らない新型コロナウイルス感染症による院内クラスター終息宣言からの診療再開から始まり、新型コロナウイルス陽性者を院内に持ち込まない運用を構築し院内全体で実行しつつ、継続して市中の新型コロナウイルス感染症患者の入院の受け入れに努めた。また並行して、新病院を見据えた高度・先進的な医療の提供及び医療スタッフの確保・育成の充実に努めた。

その有事の中で、日常で培ってきた組織力を発揮し、地域の医療を支える中核病院及び感染症重点医療機関として行政と連携し、医師会・歯科医師会・薬剤師会をはじめ、一般市民・子ども等への新型コロナウイルスワクチン接種や感染症患者への抗体カクテル療法等の実施に尽力した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の中、脳卒中センターの開設や遺伝子診療・総合アレルギー等の専門外来の開設、またロボット（ダビンチ）手術の件数増加を図り、新規施設基準を取得する等、目標及び課題に対して迅速に取り組み、事業の推進に努めた。

2 事業内容

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 政策的医療に関する業務

ア 救急医療

- 二次救急医療機関並びに三次救急医療機関を担う地域の中核病院として24時間365日救急医療を提供し、救命救急センターを有効活用しながら緊急入院に迅速に対応した。

また、救急対応により急性期を脱した患者については、適切に地域の開業医を紹介し在宅復帰を支援した。

- 消防本部（救急隊）と連携を密にし、原則として「断らない救急」の方針の徹底を図り、救急搬送患者の円滑な受け入れに努めた。
- 救急医療の重要性を認識し、地域の救急医療の質向上を目指し、蘇生トレーニングコース（ICLS・BLS・ACLS）を開催した。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
救急患者数	12,550人	11,494人	91.6%	10,028人	1,466人
入院	5,200人	4,847人	93.2%	4,613人	234人
外来	7,350人	6,647人	90.4%	5,415人	1,232人
救急搬送受入患者数	6,250人	6,156人	98.5%	5,558人	598人
救急搬送患者応需率	90.0%	84.3%	93.7%	89.5%	△5.2P

イ 小児・周産期医療

- 小児一次救急（休日当番診療）を、毎月第3日曜日に継続して担当し、小児救急患者を積極的に受け入れ、地域における小児救急医療の役割を果たした。

- ・ 分娩件数は令和2年度より微増となり、糖尿病等の合併症を有する重症妊娠高血圧症候群、前置胎盤など、開業医では対応の難しいハイリスク妊娠管理及び分娩管理が必要な患者を積極的に受け入れた。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
小児科のべ患者数					
入院	4,740人	3,420人	72.2%	3,429人	△9人
外来	18,600人	17,904人	96.3%	15,535人	2,369人
分娩件数	720件	658件	91.4%	653件	5件

ウ 感染症医療

- ・ 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として、抗体カクテル療法等を必要とする患者を迅速に受け入れる体制を確保し、柔軟に対応した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の対応を学びとした院内感染対策マニュアル(BCP含む)の改編に着手した。
- ・ 院内感染対策委員会による MRSA その他菌検出状況、インフルエンザ発生状況の把握、職員ウイルス疾患抗体価検査の実施等、抗体を持たない職員に対してはワクチン接種の推奨を行った。
- ・ 職員及び職員家族並びに患者等が新型コロナウイルスに感染した状況を感染制御チーム(ICT)が把握し、職員全体に情報を共有する体制の強化を図った。

エ 災害時医療

- ・ 火災訓練及び地震想定模擬訓練を、各病棟や外来等にて職員参加型により実施した。
- ・ 大規模災害時の医療救護班(DMAT)派遣要請への対応が迅速にできるよう体制を維持し、災害拠点病院として役割を果たす。

オ 障がい者歯科診療

- ・ 一般診療所では困難な障がいのある方の歯科診療を行い、地域歯科診療の中核的役割を果たした。

(2) 高度・専門医療に関する業務

ア 高度・先進的医療

- ・ ロボット(ダビンチ)手術による手術症例の増加に努め、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術に係る施設基準を取得した。
- ・ 急性期脳梗塞に対する高度専門医療を推進するために脳卒中センターを開設し、rt-PA(アルテプラゼ)静注療法、血栓回収療法等が実施できる体制強化を図った。
- ・ 急性心筋梗塞や狭心症に対する緊急心臓カテーテル検査・治療をはじめ、不整脈に対するアブレーション治療等、虚血性心疾患治療の充実を図った。
- ・ 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの専門的治療を積極的に実施した。
- ・ 高気圧酸素治療装置の増設に伴い、突発性難聴、難治性潰瘍を伴う末梢循環障害等に対する早期治療を積極的に実施した。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
手術件数	6,500件	5,782件	90.0%	5,623件	159件
全身麻酔件数	2,440件	2,233件	91.5%	2,156件	77件
手術支援ロボット(ダビンチ) 実施件数	48件	46件	95.8%	22件	24件
心臓血管外科 開心術・バイパス 移植術件数	60件	44件	73.3%	65件	△21件
血管内治療手術件数					
脳神経外科	40件	46件	115.0%	16件	30件
循環器内科	350件	473件	135.1%	296件	177件
血管外科	150件	87件	58.0%	85件	2件
人工関節置換術(股・膝)件数	170件	170件	100.0%	204件	△34件
高気圧酸素治療のべ患者数	1,300人	821人	63.2%	821人	0人
体外衝撃波結石破碎治療件数	30件	10件	33.3%	-	皆増

イ がん診療

- ・ 地域がん診療拠点病院として手術、薬物療法、放射線治療等による質の高い診断、治療の提供を行った。
- ・ 専門領域の医師、看護師、コメディカル等がチームとして症例検討会を行い、患者にとって最適な治療方法となるよう集学的治療の推進を図った。
- ・ 外来化学療法での身体的な負担軽減を図るため、内服による抗がん剤治療への移行及び副作用を軽減する目的で行う支持療法を推進し、患者の生活の質の向上を図った。
- ・ 患者や家族のがんに対する不安等を軽減するため、医師、看護師、MSWが連携して相談支援の体制の充実を図るとともに、院内緩和ケアチームの介入も積極的に行った。
- ・ がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療を推進するため、がん遺伝子パネル検査の実施並びに遺伝カウンセリングを推進した。
- ・ 浜松市教育委員会と協働し、がんの教育推進のため、市内の小・中学校を訪問した。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 報告(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 報告(C)	増減 (B)-(C)
院内がん登録数	980件以上	975件	99.5%	967件	8件
関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
がん手術件数	620件	578件	93.2%	545件	33件
薬物療法のべ患者数	1,800人	1,594人	88.6%	1,578人	16人
放射線治療のべ患者数	250人	229人	91.6%	211人	18人
緩和ケアチーム新規介入件数	250件	220件	88.0%	208件	12件
がんゲノム遺伝子パネル検査 件数	20件	21件	105.0%	17件	4件
がん患者指導管理料算定件数	2,500件	3,433件	137.3%	3,164件	269件

ウ アレルギー診療

- アレルギー疾患医療拠点病院としてアレルギー疾患センターが中心となり、総合アレルギー外来を新設する等、難治性アレルギー疾患患者に対し、質の高い医療の提供を行った。

エ エイズ治療

- エイズ治療拠点病院として、エイズ感染者の診療及び関係医療機関等への研修活動等を実施し、県内のエイズ治療の中核的役割を果たした。

オ 臓器・骨髄移植に関する医療

- 非血縁者間末梢血幹細胞採取の認定施設として、非血縁者間の移植医療に貢献した。

(3) 地域医療への貢献

ア 地域住民の健康増進及び疾病予防

- 出張健診車での訪問型健診の配車日程を計画的に増加できるよう、運営体制の整備を行い、次年度の出張健診受託者を確保した。
- 予防医療等生活指導（特定保健指導・健康相談）の件数増加と将来の健康保険組合特定保健指導実施依頼に対応できる体制作りを構築した。
- ジャパン・マンモグラフィーサンデー（10月第3日曜日）へ参加し、子育て、仕事家事等で多忙な女性が、乳がん検診を継続して受けられるようにした。
- 経口と経鼻内視鏡検査を選択できる運用を構築し、受診者の満足度の向上を図った。

関連指標	令和3年度 計画 (A)	令和3年度 実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績 (C)	増減 (B)-(C)
特定健診 (うち人間ドック)	16,300人 (780人)	16,338人 (814人)	100.2% 104.4%	15,230人 (758人)	1,108人 (56人)
胃がん検診人数	7,500人	7,066人	94.2%	6,873人	193人
大腸がん検診人数	11,180人	10,999人	98.4%	10,493人	506人
結核肺がん検診人数	15,950人	16,449人	103.1%	14,743人	1,706人
子宮がん検診人数	3,470人	3,877人	111.7%	3,233人	644人
乳がん検診人数	2,610人	2,614人	100.2%	2,212人	402人
特定保健指導・健康相談 実施人数	350人	259人	74.0%	330人	△71人

イ 地域診療所等との連携

- 新任医師と共に計画的に開業医への訪問活動を実施し、紹介患者の確保に努めた。
- 紹介患者を断らない体制強化のため、各診療科責任医師及び総合診療内科と連携強化を図るとともに、医療連携室が窓口となり、開業医からの診療紹介患者の依頼に積極的に対応した。

- ・ 紹介患者に対する確実な返書管理の徹底及び逆紹介が円滑に進むよう、時間外救急患者の診療情報提供書の記載の徹底を促し、地域医療連携の推進に努めた。
- ・ 新規入院患者の受け入れが滞ることがないように、退院調整看護師、MSWが積極的に介入する体制を強化し、効果的な退院支援の推進を行った。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
紹介率	78.0%以上	75.1%	96.3%	73.2%	1.9P
逆紹介率	85.0%以上	98.1%	115.4%	90.2%	7.9P
入退院支援加算算定 件数	4,350件	4,074件	93.7%	4,004件	70件
介護支援等連携指導料 算定件数	1,000件	1,081件	108.1%	924件	157件

(4) 地域における医療水準の向上

ア 医療従事者及び医療従事者を目指す者の育成

- ・ 診療機能の維持及び強化のため、引き続き浜松医科大学附属病院と連携を密にして、医師の確保を図るとともに、看護師、薬剤師、コメディカルについても新病院での事業拡充を見据えて、適切な確保に努めた。
- ・ 浜松医科大学医学部学生や市立看護専門学校への講師派遣及び看護実習生の積極的な受け入れ等を行い、地域の医療専門職の育成に貢献した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に十分に配慮した上で、研修会や講演会等を再開し、学術分野・教育・地域活動を推進した。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
浜松医科大学学生臨床 実習受け入れのべ人数	280人	219人	78.2%	206人	13人
看護実習生受入のべ人数	8,750人	6,524人	74.6%	7,944人	△1,420人

イ 医学及び医療の向上に関する調査、研究

- ・ 製薬会社と共同して新型コロナウイルス感染症の治療薬の開発に向けた治験の実施を行い、感染症指定医療機関として医療水準のさらなる向上に取り組んだ。
- ・ 「とおとうみ臨床試験ネットワーク」や「静岡県治験ネットワーク」へ継続的に参加し、治験及び臨床研究の受託件数増加に努めた。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
治験実施件数	5件	6件	120.0%	7件	△1件
臨床研究実施件数	200件	230件	115.0%	203件	27件

(5) 医療の質及び安全の確保

ア 安全・安心な医療の提供

- ・ 医療安全推進室を中心として、インシデントやアクシデントの情報収集・分析を行い、全職員に対して迅速なフィードバックを行った。
- ・ 暴言・暴力の対応に対して、専従苦情対応者が医療メディエーター（医療対話仲介者）として医療者と患者・家族との関係をとりもつ等、組織的に介入する取り組みを行った。
- ・ 医療安全に関する研修会、M&Mカンファレンス、事例検討会等を開催し、「事例から学ぶ・活かす」ことを推進し「学習する文化」の醸成に努めた。
- ・ 致死性の急変を未然に防ぐための 院内迅速対応システム（Rapid Response System）の導入検討を行った。

イ 医療の標準化と最適な医療の提供

- ・ 院内クリニカルパスの見直しを図り、医療の標準化、質の高い医療の提供に努めた。
- ・ 高度急性期病院として7対1急性期一般入院料の基準を満たし、看護補助者と協働し、最適な医療サービスの提供に努めた。

ウ 医療スタッフの確保

医師

- ・ 救急医療、がん医療、高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、医師の育成及び確保に努めた。
- ・ 臨床研修医の要望や社会的な要請に合致した教育研修プログラムの充実により、臨床研修医の受け入れ推進と定着に取り組んだ。

看護師

- ・ 7対1急性期一般入院料の基準を維持するため、看護師数確保の採用活動を拡大実施した。
- ・ 迅速な処置等が適切に実施でき、医師の負担を軽減できる特定行為研修修了看護師の養成に努めた。

コメディカル

- ・ 医療の高度複雑化・専門化が進むため、臨床工学技士の確保に努めた。
- ・ 冠動脈CTA 検査、脳アンギオ検査増加のため、放射線技師の確保に努めた。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
臨床研修医募集定員充足率	100.0%	92.3%	92.3%	100.0%	△7.7P
臨床研修医マッチング数	12人	12人	100.0%	13人	△1人
認定・専門看護師数 (再掲：特定行為看護師数)	29人 (2人)	30人 (2人)	103.4% (100.0%)	29人 (1人)	1人 (1人)
100床あたりの医師数	27.9人	28.7人	102.9%	27.1人	1.6人
100床あたりの看護師数	97.7人	99.0人	101.3%	96.5人	2.5人

(6) 患者サービスの向上

- ・ 患者満足度調査や「患者のみなさまの声」から患者ニーズを把握し、そのニーズを満たすために迅速かつ柔軟な改善及び対策を行った。
- ・ 放射線検査、血管内治療手術の患者の待ち調査を踏まえ、検査予約枠や診察前検査の運用見直しに取り組み、待ち時間の改善を図った。
- ・ 新病院建設に伴う外来患者サービスの低下を招かぬよう、ホームページ等を通じて送迎の方法や工事の進捗状況等の情報提供を継続して行った。

(7) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・ 診療報酬や個人情報保護法の改正の動向に注視し、施設基準の届出や院内の規定等の見直し検討を進めた。
- ・ 患者の視点に立ち、患者の権利を尊重することによるインフォームド・コンセントの徹底を推進した。
- ・ 病院機能評価の更新を控え、現在の当院の状況を踏まえた「浜松医療センター基本方針」及び「患者の皆様の権利と責務」の見直しを行い、全職員に周知した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) PDCA サイクルによる経営戦略の構築

- ・ 理事長、院長を中心として PDCA サイクル (Plan (計画) →Do (実行) →Check (評価) →Action (改善)) を用いて、計画的かつ継続的に改善活動を実施した。

(2) 適正な人事配置と評価

- ・ 新病院での新事業を見据えて、高度な専門知識と技術を提供するための適切な人員配置及び業務量に応じた適正な人員配置の計画検討を進めた。

(3) 職員の就労環境の整備

- ・ 職員個々の能力の発揮と効率的な業務の展開ができるよう、職種・職場の事情に応じた柔軟な勤務形態を取り入れた働き方を推進した。

3 財務内容の改善に関する事項

(1) 収入の確保

- ・ 院内クラスターの発生により新入院患者数が減少したが、医療連携室の受付を 19 時まで延長する等、断らない医療をモットーに患者の受け入れを行い、新入院患者数の増加に努めた。
- ・ 紹介患者の増加を図るため、総合アレルギー外来の開設や新任医師による開業医訪問を積極的に行った。
- ・ 令和 2 年度から引き続き、看護補助者の体制の充実や夜間看護師配置を強化し、約 2 億円の増収を図った。
- ・ 診療報酬請求に関わるコンサルタントと連携し、各種指導料等の算定件数の増加策を講じ、約 3 千万円の増収を図った。

関連指標	令和3年度 計画(A)	令和3年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	令和2年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
入院患者のべ数	182,877人	168,417人	92.1%	169,813人	△1,396人
1日平均入院患者数	501人	461人	92.0%	465人	△4人
病床利用率	83.5%	76.9%	92.1%	77.4%	△0.5P
平均在院日数	13.0日	12.6日	-	13.3日	△0.7日
外来患者のべ数	238,340人	236,116人	99.1%	228,846人	7,270人
1日平均外来患者数	985人	976人	99.1%	942人	34人

(2) 費用の節減

- ・ 診療材料の調達に際して、病院調達に切り替えたことにより、約7,830万円の削減を行った。
- ・ 医薬品購入費の削減を図るため、高額医薬品管理システムを導入し、期限切れ廃棄を防ぐ等の取り組みから、約450万円の削減を行った。
- ・ 業務委託契約、賃貸借契約等について、業務委託契約等検討会議にて契約内容及び契約方法を協議し、契約金額の抑止を行った。

(3) 経常収支比率の均衡

- ・ 必要な公的負担を受けながら、最小経費によって最大効果を得られるよう効率的な運営を行うとともに、特定費用準備資金を活用するなど令和3年度から7年度までの期間を通じて、収支均衡を図れるよう収支計画を策定した。

関連指標		令和3年度計画 (A)	令和3年度実績 (B)	令和2年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
給与費対医業収益率		51.1%以下	54.2%	55.1%	△0.9P
材料費対医業収益率		30.0%以下	29.5%	29.4%	0.1P
主な内訳	薬品費	19.0%以下	17.8%	18.6%	△0.8P
	診療材料費	10.2%以下	10.7%	9.9%	0.8P

4 その他業務運営に関する重要事項

(1) 新病院整備事業

- ・ 令和5年度開院の新病院建設計画は、新規事業等に関するプラン変更も含め、スケジュール通りに整備を進めた。
- ・ 新病院の医療機器備品整備並びに医療情報システム整備等の計画を着実に進めた。

(2) 医療と介護の連携推進事業の支援

- ・ 地域包括ケアセンターや地域の介護福祉施設等との連携強化を図り、在宅医療・介護連携に関する相談支援の推進に努めた。

(3) 公立病院の連携・支援

- ・ 西部医療圏の地域医療を確保するため、同医療圏の公立病院と連携を深め、医師派遣の支援や救急医療及び入院治療等の提供を積極的に行い、病病連携の推進に取り組んだ。

(4) 職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供に関する業務

- ・ 地域型保育事業の認定を受けたあゆみ保育園において、職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供を行い、子育て支援制度の適切な運用を通して、子供を持つ職員が働きやすい職場環境の整備を行った。

5 役員会開催実績

(1) 評議員会

① 第1回定時評議員会

日 時	令和3年6月24日(木) 午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・理事の選任について(理事10名を選任)・監事の選任について(監事2名を選任)・評議員の選任について(評議員7名を選任)

② 第1回臨時評議員会

日 時	令和4年3月24日(木) 午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・第9期(令和3年度)補正予算(第1号)・令和3年度浜松医療センターの管理に関する協定書の一部変更の締結について・第10期(令和4年度)事業計画・第10期(令和4年度)収支予算・理事の辞任に伴う補欠選任について・評議員の辞任に伴う補欠選任について・浜松医療センター基本方針の見直しについて・中期計画(令和3年度~令和7年度)の見直しについて・令和4年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について

(2) 理事会

① 第1回臨時理事会(決議の省略)

日 時	令和3年4月1日(木)
議事等	<ul style="list-style-type: none">・常務理事の選定について(常務理事2名を選定)

② 第1回定例理事会

日 時	令和3年6月9日(水) 午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・定時評議員会の招集について・第8期(令和2年度)事業報告(案)について・第8期(令和2年度)決算(案)について・理事の任期満了に伴う補欠選任候補者の推薦について・監事の任期満了に伴う補欠選任候補者の推薦について・評議員の任期満了に伴う補欠選任候補者の推薦について・組織規程の一部改正について・職員給与規程施行規則の一部改正について・役員等の報酬について

③ 第2回臨時理事会(決議の省略)

日 時	令和3年6月21日(月)
議事等	<ul style="list-style-type: none">・理事の任期満了に伴う補欠選任候補者の推薦について・評議員の任期満了に伴う補欠選任候補者の推薦について

④ 第3回臨時理事会

日 時	令和3年6月24日（木）
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の選定について ・ 副理事長の選定について ・ 常務理事の選定について ・ 財産管理責任者の任命について ・ 資金運用執行責任者の任命について

⑤ 第2回定例理事会

日 時	令和3年9月15日（水）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 管理職員特別勤務手当を支給する勤務の範囲について

⑥ 第4回臨時理事会

日 時	令和3年11月30日（火）
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 専修医に関する規程の一部改正について

⑦ 第3回定例理事会

日 時	令和3年12月15日（水）午後1時30分
議事等	議案なし

⑧ 第4回定例理事会

日 時	令和4年3月9日（水）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回臨時評議員会の招集について ・ 第9期（令和3年度）補正予算（第1号） ・ 令和3年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の一部変更の締結について ・ 特定費用準備資金の積立限度額の変更について ・ 第10期（令和4年度）事業計画について ・ 第10期（令和4年度）収支予算 ・ 資金運用の執行方針及び計画について ・ 浜松医療センター基本方針の見直しについて ・ 中期計画（令和3年度～令和7年度）の見直しについて ・ 令和4年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について ・ 職員就業規程の一部改正について ・ 職員の育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 職員給与規程施行規則の一部改正について ・ 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・ 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・ 業績特別手当について

6 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	現職等
理事長	山下 堅司	公益財団法人浜松市医療公社理事長
副理事長	海野 直樹	浜松医療センター院長
常務理事	緒方 勤	浜松医療センター院長補佐
常務理事	中山 禎司	浜松医療センター院長補佐
常務理事	福田 哲巳	公益財団法人浜松市医療公社事務局長
理事	山本 清二	国立大学法人浜松医科大学理事・副学長
理事	山中 克二	一般社団法人浜松市医師会副会長
理事	小杉 和弘	前浜松商工会議所専務理事・事務局長
理事	小出 幸夫	医療法人社団一穂会理事
理事	鈴木 達夫	浜松市健康福祉部医療担当部長
監事	田中 範雄	公認会計士・税理士
監事	宮城 和敬	浜松市会計管理者

(2) 評議員（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	現職等
評議員	滝浪 實	一般社団法人浜松市医師会会長
評議員	木村 裕一	一般社団法人浜松市歯科医師会会長
評議員	品川 彰彦	一般社団法人浜松市薬剤師会会長
評議員	鈴木 敏弘	弁護士
評議員	藤田 正治	前浜松商工会議所副会頭
評議員	山下 昭一	浜松市健康福祉部長
評議員	西原 信彦	浜松市健康福祉部保健所長

(3) 会計監査人（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	現職等
会計監査人	疋田 通丈	公認会計士・税理士

7 職員に関する事項

<職種別職員数：前年度比較>

職種	令和3年度末	令和2年度末	比較増減
医師	114人	111人	3
専修医	32人	33人	△1
臨床研修医	27人	21人	6
保健師	29人	30人	△1
助産師	62人	61人	1
看護師	493人	485人	8
薬剤師	36人	37人	△1
診療放射線技師	29人	27人	2
臨床検査技師	38人	38人	0
臨床工学技士	14人	12人	2
管理栄養士	9人	8人	1
理学療法士	15人	15人	0
作業療法士	7人	7人	0
言語聴覚士	2人	2人	0
臨床心理士	1人	1人	0
視能訓練士	3人	3人	0
歯科衛生士	3人	3人	0
遺伝カウンセラー	1人	1人	0
診療情報管理士	3人	2人	1
事務員	55人	55人	0
医療社会事業士	9人	9人	0
保育士	12人	14人	△2
電気技師	1人	1人	0
業務員	4人	5人	△1
合計	999人	981人	18

8 労働関係法令について

労働関係法令に基づき、適正に業務を履行しました。